

メール設定マニュアル

[Approach DAM]



Copyright (C) NI Consulting Co., Ltd. All rights reserved.

目次

1.はじめに	2
1-1.構成図.....	2
1-2.メールアカウントについて	4
2.メール取込機能を利用するためのメール設定	5
2-1.送受信メールアカウント設定（Approach DAM サーバー）	6
2-2.送受信メールアカウント設定（メーカー）	9
3.メール配信機能を利用するためのメール設定	14
3-1.送信メールアカウントの設定.....	14
3-2.外部送信メール設定	17
4.メール取込ルール	18
4-1.メール取込ルールを登録する.....	19
4-2.自動作成される各情報の構成と制約	20

1.はじめに

本マニュアルは、メールの設定に関するマニュアルです。

先にセットアップしたメールDMサーバーとの連携設定からそのあとのメール設定に関する一連の作業の流れをご案内いたします。次の内容をご確認いただき、手順に従って設定してください。



補足

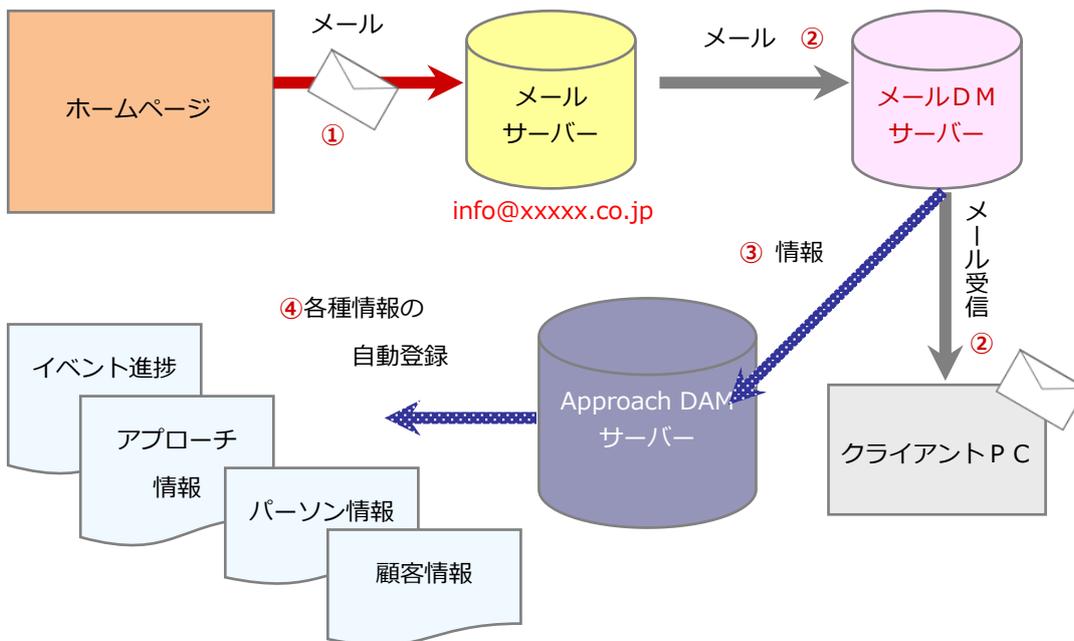
本書における製品名の呼称について

本書では『Approach DAM』という呼称で説明しています。弊社製品の『Sales Force Assistant』シリーズと『Approach DAM』を一緒に導入されている場合、システム設定などの一部のタブメニューの製品名表記が異なる場合がありますが該当箇所は適宜お読み替えてください。

1-1.構成図

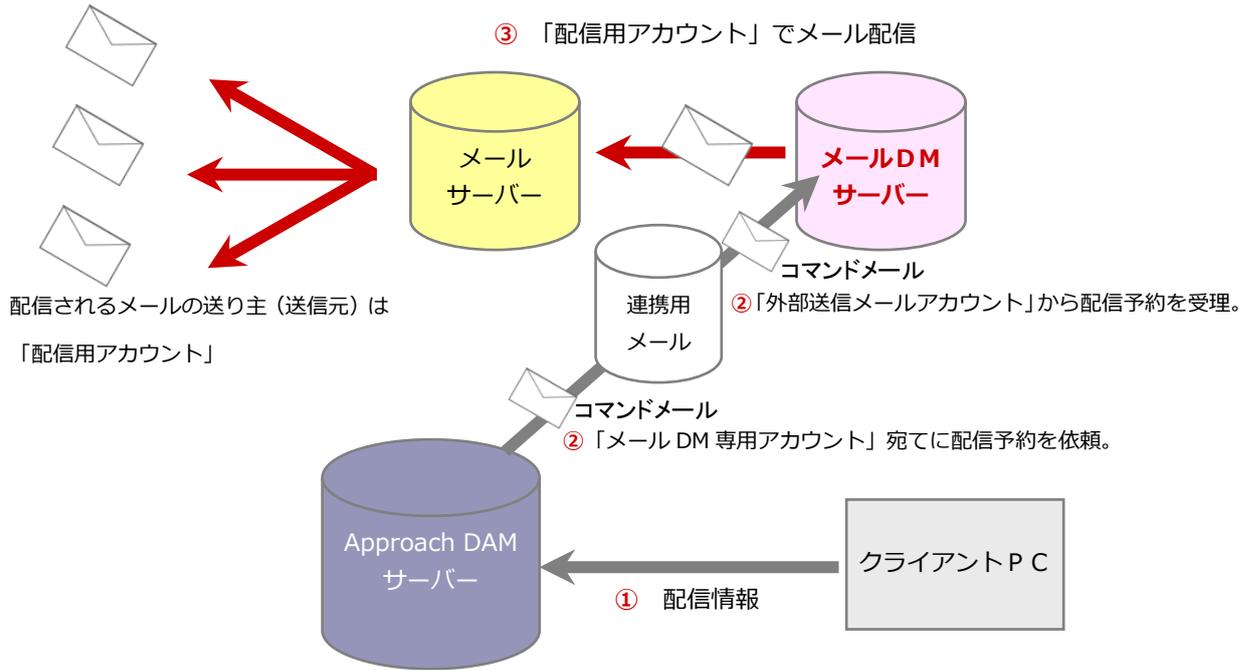
メールDMサーバーの設定の前に、メールDMサーバーを利用して行われるメール送受信の一連の流れについてご案内します。

【メール受信（WEBデータ自動取込み）】



メール受信の流れ	
①	ホームページからの問い合わせ内容がメールでメールサーバーへ送信されます。
②	Approach DAM 利用者がメールを受信します。この時、 メールDMサーバーを経由 して受信します。
③	2で受信する際、「メール取込ルール」(※)の条件に合致するメールは、その内容がApproach DAMサーバーへ取り込まれます。 ※「メール取込ルール」・・・「件名にXXを含む」メールなど製品に取込みたいメールの条件のこと。
④	メール取込ルールの取込フォーマットの設定によって各種情報を自動で登録します。

【メール送信（メール一斉配信機能）】



メール配信の流れ	
①	配信情報を作成します。
②	作成した配信情報は外部送信メールアカウントからのメールを介して専用書式のメール（コマンドメール）が送信され、メールDMサーバーがこれを受理することで配信予約が行われます。
③	配信時刻になると、メールDMサーバーが「配信用アカウント」を使って配信を開始します。

1-2.メールアカウントについて

Approach DAM のメイン機能「メール取込機能」と「メール配信機能」をご利用になるためには、複数のメールアカウントの登録が必要となります。各機能で設定が必要な箇所は以下の通りです。

 注意	<p>メール DM サーバーのインストールおよびアカウントの設定は、マニュアル「メール DM サーバーセットアップマニュアル」をご参照ください。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------

1-2-1.メール取込機能

設定箇所	種類（設定先）	
	A. メール DM サーバー用アカウント （メール DM 管理画面で設定）	メール DM サーバーと Approach DAM サーバーが連携する際に必要なアカウント。 他で利用しない 専用のアカウント が必要です。
	B. 取込用アカウント （「共用メールアカウント」に設定）	ホームページの問い合わせ内容が届くメールアカウント。 現在ご利用の（例：info@XXX）のアカウントをご利用いただいても構いません。

1-2-2.メール配信機能

設定箇所	種類（設定先）	
	A. メール DM サーバー用アカウント （メール DM 管理画面で設定）	メール DM サーバーと Approach DAM サーバーが連携する際に必要なアカウント。 他で利用しない 専用のアカウント が必要です。
	C. 配信用アカウント[配信アドレス] （「共用メールアカウント」に設定）	メール配信の為のアカウント。送信元アドレスになります。
	D. 外部送信メールアカウント （「外部送信メール」に設定）	メール DM サーバーと Approach DAM サーバーが連携（A. メール DM サーバー用アカウント宛てに配信依頼のコマンドメールを送信）するためのアカウント。

 注意	<p>「メール取込機能」と「メール配信機能」の両方をご利用の場合、B：取込用アカウントと、C：配信用アカウントは同一アカウントをご利用いただいても構いません。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------

2.メール取込機能を利用するためのメール設定

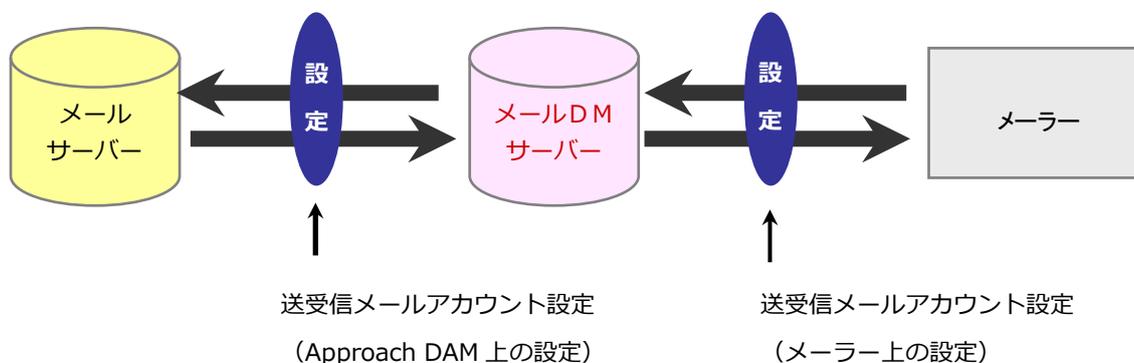
メール取込機能を利用するためのメール情報を登録します。Approach DAM 製品自体にメール機能はなく、メールを送受信する為には別途メーラーを用意し設定を行う必要があります。利用するメーラーの設定方法に準拠して登録をしてください。

ここでは Windows Live メーラーをメーラーとして利用するメール設定方法(※1)と、弊社提供のグループウェア「NI Collabo 360」をメーラーとして利用する方法(※2)のメール設定をご案内いたします。

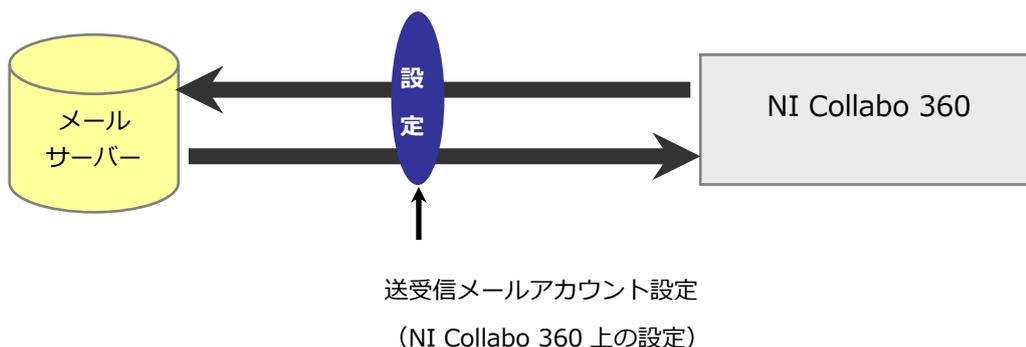
※1 メール取込機能は、メールDMサーバーを経由してメールの送受信が行われそのためには2箇所の設定が必要となります。

※2 「NI Collabo 360」をメーラーとして利用する場合は、**メールDMサーバーを経由せず**に直接メール取込が可能です。

【外部メーラーを利用しメールDMサーバーを経由したメールの送受信を行う場合】



【NI Collabo 360 を利用しメールDMサーバーを経由せずにメールの送受信を行う場合】



2-1.送受信メールアカウント設定（Approach DAM サーバー）

本項で設定するメールアカウントは、本マニュアル「1-2：メールアカウントについて」で記載されている「**B.取込み用アカウント**」を利用します。

ここでの設定は、通常のメール送受信の設定と同様、メールアカウントのご契約情報を登録します。



補足

- ・ 後述の「NI Collabo 360」を利用する場合の設定を行う場合は本項の設定は不要です。

1. システム設定の「**基本設定**」の「**メール**」の「**メールサーバー**」を選択します。

⇒「メール/メールサーバー」画面が表示されます。

2. **新規登録** ボタンをクリックします。

⇒新規登録画面が表示されます。

3. 必要事項を設定し、最後に **保存** ボタンをクリックします。

※入力内容については「システム設定マニュアル [基本設定・セキュリティ・運用管理]」をご参照ください。

POP3 でのメール受信が行えない場合のみ、IMAP をご利用ください。

※本マニュアル「1-2：メールアカウントについて」の「**B.取込み用アカウント**」として用意したアカウント情報を入力します。

4. システム設定の「**製品名タブ (Approach DAM)**」の「**メール**」の「**共用メールアカウント**」を選択します。

⇒ 共用メールアカウントの一覧画面が表示されます。

Sales Force Assistant 顧客深耕R > メール/共用メールアカウント		
新規登録		
« < 1 > »		
共用メールID	E-Mailアドレス	更新日時
event201602	event201602@ni86.jp	
info2016	info2016@ni86.jp	
infodam	infodam@ni86.jp	
manager	manager@ni86.jp	
niconsul	niconsul@ni86.jp	
stepmail	stepmail@ni86.jp	
新規登録		

5. **新規登録** ボタンをクリックします。

⇒メールアカウントの新規登録画面が表示されます。

6. メールアドレスやメールサーバー、送受信のログイン ID とパスワードなど必要事項を入力し、

保存

ボタンをクリックします。

Sales Force Assistant 顧客深耕R > メール/共用メールアカウント > 新規登録

保存 キャンセル

共用メールID* :
共用メールIDは半角英数字で入力してください。ただし#（半角シャープ記号）は利用できません。

E-Mailアドレス* :

メールサーバー* :

受信ログインID* :

受信パスワード* :
入力ミス防止のため、もう一度入力してください。

POP/IMAP before SMTP : メールサーバーの設定に準拠する
 POP/IMAP before SMTP は利用しない

SMTP認証 : メールサーバーの設定に準拠する
 SMTP認証を個別に設定する
 SMTP認証は利用しない

SMTP認証方式 :

SMTPログインID :

SMTPパスワード :
入力ミス防止のため、もう一度入力してください。

使用制限 :

登録者 :

更新者 :

Oauth2.0 認証のメールサーバーを選択した場合、OAuth2.0 認証を利用するための認証項目が表示されます。

OAuth2.0認証 : 認証コードが表示されていない場合や、認証情報が変更になった場合は、利用するメールサービスの認証情報を取得する必要があります。

メールサービスのログインIDがメールアドレスと異なる場合、以下の入力欄にログインIDを入力してください。

※OAuth2.0 認証のメールサーバーを選択した場合、受信ログイン ID や受信パスワード、SMTP 認証情報等が、非表示になりますので、受信パスワードを先に入力してください。

受信パスワードに入力したパスワードと、メールに入力したパスワードでチェックを行います。

項目名	必須	説明
共用メールID	○	<p>任意の文字列（半角英数字）を入力します。 本メールIDは後述の設定で使用します。 例) メールアドレス: admin@XXX.co.jp ⇒ 「admin」などメールアドレスIDと同じでも構いませんが、設定を混同しやすいため他の文字列にするか別途識別文字列などを付与することを推奨します。</p> <p>半角シャープ記号は利用できません。</p>
E-Mail アドレス	○	本マニュアル「1-2: メールアカウントについて」の「B.メール取込み用アカウント」として用意したメールアドレスを入力します。
メールサーバー	○	受信するメールアドレスのサーバーを選択します。 前項で設定した、メールサーバー名を選択します。
受信ログインID	○	メールアドレスで設定されている受信ログインを入力します。
受信パスワード	○	メールアドレスで設定されているパスワードを入力します。
受信パスワード (確認)	○	同上
POP/IMAP before SMTP		指定されていなければ初期値のままにしておきます。
SMTP 認証		
SMTP 認証方式		
SMTP ログインID		
SMTP パスワード		
OAuth2.0 認証		<p>OAuth2.0 認証を利用する場合のみ表示されます。 OAuth2.0 認証の認証情報取得ボタンを押下し、認証を進めて、取得した認証コードをテキストボックスに転記してください。 ※ログインIDは、メールアドレスとログインIDが異なる場合のみ入力が必要です。</p>
使用制限		このアカウントで送受信できる社員を指定します。未指定時は Approach DAM の製品利用ライセンスを有した社員全員が送受信いずれも使用できます。

2-2.送受信メールアカウント設定（メーラー）

本項で設定するメールアカウントは、本マニュアル「1-2：メールアカウントについて」で記載されている「**B.取込み用アカウント**」を利用します。

この設定は、利用者がメールを送受信するためのメールサーバー情報を登録します。前掲の図の通り、メール送受信はメールDMサーバーを経由するため、ここでの設定はメールDMサーバーへの接続情報を登録します。

2-2-1.Windows Live メールを利用する場合

1. Windows Live メールを開きます。

⇒[スタート] ボタン () をクリックします。

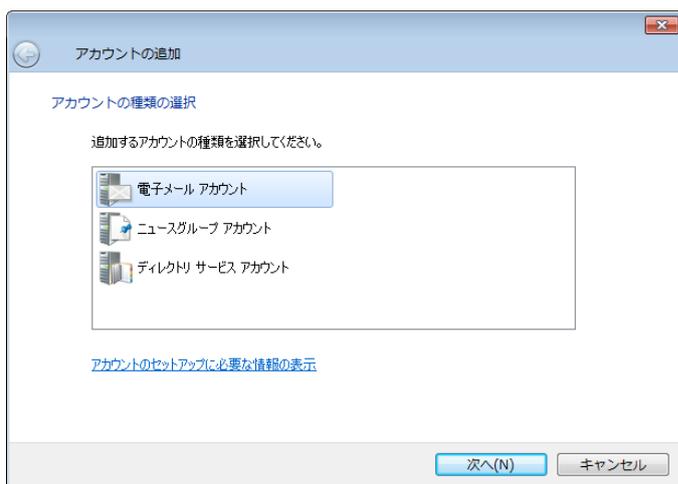
検索ボックスに「**メール**」と入力し、結果の一覧で **[Windows Live メール]** をクリックします。

2. 左下隅で **[メール]** をクリックします。

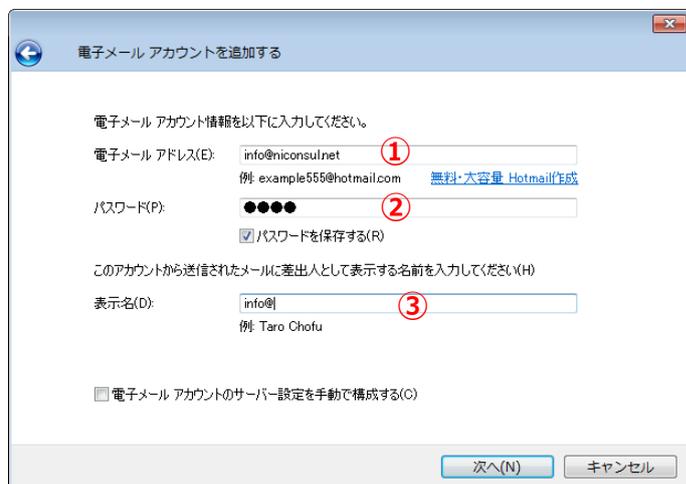
3. **[ツール]** タブをクリックし、**[アカウント]**をクリックします。

4. 「追加」 ボタンを押します。

⇒電子メールアカウントを選択し、「次へ」 ボタンを押します。



5. 必要項目を入力し、「次へ」 ボタンを押します。



- ①メールアドレスを登録します。

※本マニュアル「1-2：メールアカウントについて」の「**B.取込み用アカウント**」として用意したメールアドレスを入力します。

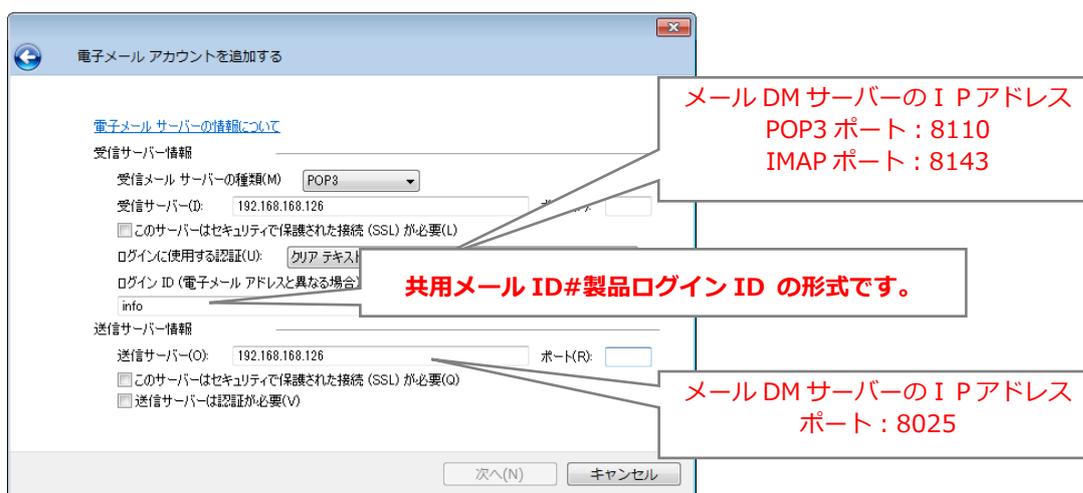
②パスワードには、メールアカウントで設定されているパスワードを入力します。

③メールを送信する際に表示される送信者名を入力します。

6. 次に、メールサーバー情報を入力します。受信メールサーバーの種類は、POP3 を選択してください。

※POP3 が利用できない場合のみ、IMAP を選択してください。

使用するメールサーバーは、**メール DM サーバーの IP アドレスと専用のポート番号**を入力し、ログイン ID には前掲の共用メールアカウントの「**共用メール ID**」と「**製品ログイン ID (※)**」の間に半角シャープ記号を入れた形式で入力します。

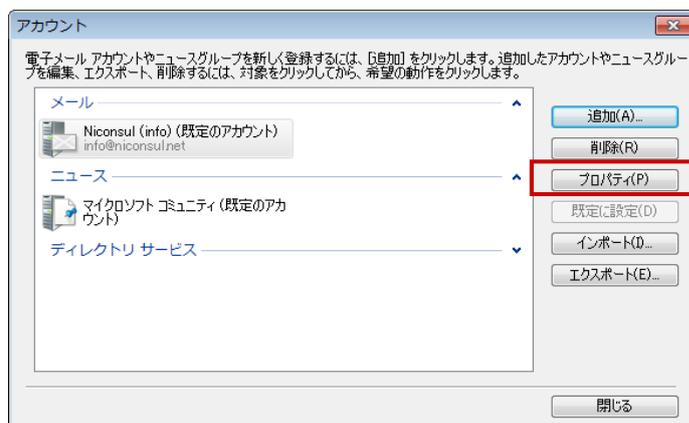


※製品ログイン ID は、前掲の共用メール ID の使用制限に含まれていることと、Approach DAM の利用権限のあるユーザーのログイン ID を指定する必要があります。

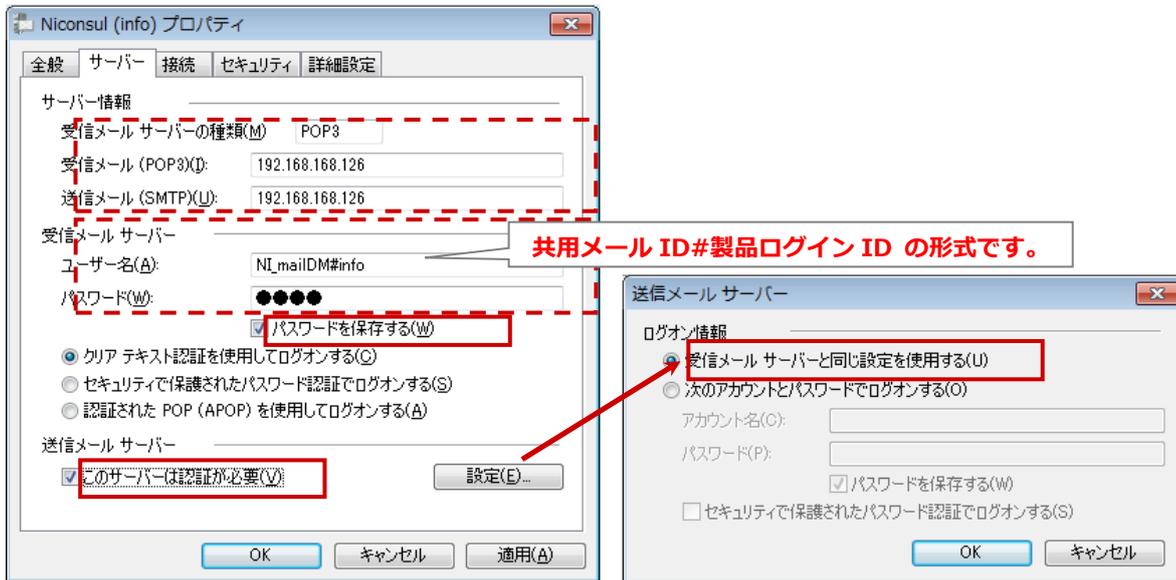


- メール DM サーバーが設置される場所とメール送受信を行うクライアント PC が設置される場所が別々の場合（社外）送信メールサーバーや受信メールサーバーの入力 IP アドレスを外部から参照可能な固定グローバル IP アドレスに設定してください。

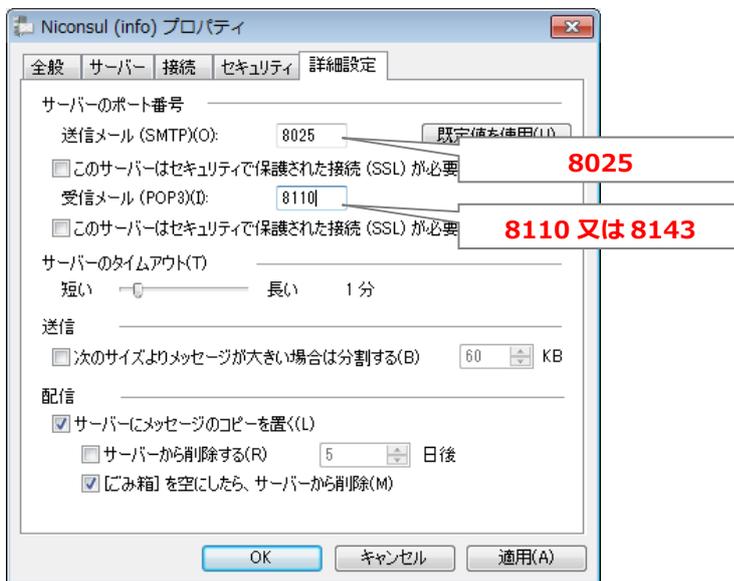
7. 登録完了後、Windows Live メール の画面上部にある「ツール」 → 「アカウント」 を選択し、先程登録したメールアカウントが入っているかを確認してください。確認後、アカウント名を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



8. 「サーバー」タブを選択し、ユーザー名・サーバー情報や受信メールサーバー情報の内容を確認してください。またこの画面では、「送信メールサーバー」欄にある【このサーバーは認証が必要】にチェックを入れ、「設定」ボタンより【受信メールサーバーと同じ設定を使用する】になっていることを確認して「OK」を押します。
※受信メールを他メーカーでも受信する場合、【パスワードを保存する】にチェックを入れます。



9. 次に「詳細設定」タブを押し、「サーバーのポート番号」にてそれぞれ【8025】と【8110】又は【8143】が入っているか確認し、「OK」ボタンを押します。



ポート番号 8025 は、初期値です。ポート番号を任意に設定する場合は、「2-1-3.ポート番号の変更方法」をご参照ください。

2-2-2.グループウェア「NI Collabo 360」を利用する場合

Approach DAM と NI Collabo 360 はシームレスな連携が可能で、**メール DM サーバーを経由せず**にメール取込機能を利用することができます。

1. システム設定の「基本設定」の「メール」の「メールサーバー」を選択します。

⇒「メール/メールサーバー」画面が表示されます。

2. **新規登録** ボタンをクリックします。

⇒新規登録画面が表示されます。

3. 必要事項を設定し、最後に **保存** ボタンをクリックします。

※入力内容については「システム設定マニュアル [基本設定・セキュリティ・運用管理]」をご参照ください。

4. グループウェア「NI Collabo 360」にログインし、画面最下部左下にある「オプション設定」をクリックします。

⇒「オプション設定」画面が表示されます。

5. 「メール」→「アカウント設定」を押し、**新規登録** ボタンを押します。

⇒新規登録画面が表示されます。

6. 各項目の入力が完了しましたら **登録** ボタンを押して内容を保存してください。

※設定項目については、下表をご参照ください。

メールを送受信するためのアカウント情報を設定します。	
登録	キャンセル
アカウント設定名 *:	manager
E-Mailアドレス *:	manager@ni86.jp
メールサーバー *:	メール配信用 - ni86.jp ▼
受信ログインID *:	manager
受信パスワード *:
受信パスワード (確認):
メッセージのコピー:	<input type="checkbox"/> 受信メッセージのコピーをメールサーバーに残す
送信メール:	<input checked="" type="checkbox"/> [送信済BOX] に送信メッセージのコピーを保存する
自動受信:	<input type="checkbox"/> 自動受信を行う
POP/IMAP before SMTP:	<input checked="" type="radio"/> メールサーバーの設定情報に準拠する <input type="radio"/> 「POP/IMAP before SMTP」は使用しない
SMTP認証:	<input checked="" type="radio"/> メールサーバーの設定情報に準拠する <input type="radio"/> 個別に「SMTP認証」を設定する
認証方式	▼
ログインID	
パスワード	
※個別に「SMTP認証」を設定する場合、認証方式を選択してください。	
<input checked="" type="radio"/> SMTP認証は使用しない	
メール取込:	<input checked="" type="radio"/> 「メール取込機能」を使用する <input type="radio"/> 使用しない ※本機能を使用するためには事前にシステム設定「メール取込ルール」の設定が必要です。

メール取込機能を「使用する」を選択します。

※入力内容については「NI Collabo 360 操作マニュアル」の「メールのオプション設定」「アカウント設定」をご参照ください。

2-2-3.ポート番号の変更方法

メールDMサーバー経由でメールを送受信する場合、初期値でポートは 8025（送信）と 8110（受信）を利用します。他のポート番号をご利用の場合、メール DM サーバーを以下の設定に変更してください。

1. Windows の[スタート]を右クリックし、「エクスプローラー」を開きます。
左のフォルダからメール DM サーバーがインストールされたドライブの[Niconsul]→[TasDM]→[server properties]を開きます。
2. <pop3.server.port = 8110 > <imap.server.port = 8143> <smtp.server.port = 8025> をそれぞれ変更したポート番号に書き直し、保存します。

```
# Pop3ProxyServer setting
pop3.server.port = 8110
pop3.server.socket_timeout = 300000
pop3.server.pop3_socket_timeout = 300000

# IMAPProxyServer setting
imap.server.port = 8143
imap.server.socket_timeout = 300000
imap.server.pop3_socket_timeout = 300000

# SmtproxyServer setting
smtp.server.port = 8025
smtp.server.socket_timeout = 300000
smtp.server.smtp_socket_timeout = 300000
```

3.メール配信機能を利用するためのメール設定

メール配信機能を利用するためのメール情報の登録についてご案内いたします。

3-1.送信メールアカウントの設定

メール配信する際の送信元のメール設定を行います。

本項で設定するメールアカウントは、本マニュアル「**1-2：メールアカウントについて**」で記載されている「**C.配信用アカウント**」を設定します。



注意

「メール自動取込機能」と「メール配信機能」の両方をご利用の場合、B.取込み用アカウントと、C.配信用アカウントは同一アカウントでも構いません。その場合、本設定は必要ありません。
※アカウントの内容については、本マニュアル「1-2：メールアカウントについて」をご参考ください。

1. システム設定の「**基本設定**」の「**メール**」の「**メールサーバー**」を選択します。

⇒「メール/メールサーバー」画面が表示されます。

2. **新規登録** ボタンをクリックします。

⇒新規登録画面が表示されます。

3. 必要事項を設定し、最後に **保存** ボタンをクリックします。

※入力内容については「システム設定マニュアル [基本設定・セキュリティ・運用管理]」をご参照ください。

POP3 でのメール受信が行えない場合のみ、IMAP をご利用ください。

4. システム設定の「**製品名タブ (Approach DAM)**」の「**メール**」の「**共用メールアカウント**」を選択します。

⇒ 共用メールアカウントの一覧画面が表示されます。

Sales Force Assistant 顧客深耕R > メール/共用メールアカウント		
新規登録		
« < 1 > »		
共用メールID	E-Mailアドレス	更新日時
Seminar	seminar@ni86.jp	2020年1
event20XXXX	event20xxx@ni86.jp	
info20XX	info20xx@ni86.jp	
infodam	infodam@ni86.jp	
manager	manager@ni86.jp	
niconsul	niconsul@ni86.jp	
stepmail	stepmail@ni86.jp	

5. **新規登録** ボタンをクリックします。

⇒新規登録画面が表示されます。

6. メールアドレスやメールサーバー、送受信のログイン ID とパスワードなど必要事項を入力し、

保存

ボタン

をクリックします。
※本マニュアル「1-2：メールアカウントについて」の「**C. 配信用アカウント**」として用意したアカウント情報を入力します。

保存 キャンセル	
共用メールID* :	<input type="text"/> <small>共用メールIDは半角英数字で入力してください。ただし#（半角シャープ記号）は利用できません。</small>
E-Mailアドレス* :	<input type="text"/>
メールサーバー* :	<input type="text"/>
受信ログインID* :	<input type="text"/>
受信パスワード* :	<input type="password"/> <small>入力ミス防止のため、もう一度入力してください。</small> <input type="password"/>
POP/IMAP before SMTP :	<input checked="" type="radio"/> メールサーバーの設定に準拠する <input type="radio"/> POP/IMAP before SMTP は利用しない
SMTP認証 :	<input checked="" type="radio"/> メールサーバーの設定に準拠する <input type="radio"/> SMTP認証を個別に設定する <input type="radio"/> SMTP認証は利用しない
SMTP認証方式 :	<input type="text"/>
SMTPログインID :	<input type="password"/>
SMTPパスワード :	<input type="password"/> <small>入力ミス防止のため、もう一度入力してください。</small> <input type="password"/>
使用制限 :	<input type="text"/> <input type="button" value="v"/> <input type="button" value="x"/> <input type="button" value="c"/>
登録者 :	
更新者 :	

Oauth2.0 認証のメールサーバーを選択した場合、OAuth2.0 認証を利用するための認証項目が表示されます。

OAuth2.0認証 :	<small>認証コードが表示されていない場合や、認証情報が変更になった場合は、利用するメールサービスの認証情報を取得する必要があります。</small> <input type="text"/> 認証情報取得 <small>メールサービスのログインIDがメールアドレスと異なる場合、以下の入力欄にログインIDを入力してください。</small> <input type="text"/>
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※OAuth2.0 認証のメールサーバーを選択した場合、受信ログイン ID や受信パスワード、SMTP 認証情報等が、非表示となりますので、受信パスワードを先に入力してください。
受信パスワードに入力したパスワードと、メールに入力したパスワードでチェックを行います。

項目名	必須	説明
共用メールID	○	任意の文字列（半角英数字）を入力します。 例）メールアドレス：admin@XXX.co.jp ⇒ 「admin」
E-Mail アドレス	○	本マニュアル「1-2：メールアカウントについて」の「C.配信用アカウント」として用意したメールアドレスを入力します。
メールサーバー	○	受信するメールアドレスのサーバーを選択します。 前項で設定した、メールサーバー名を選択します。
受信ログインID	○	メールアカウントで設定されている受信ログインIDを入力します。
受信パスワード	○	メールアカウントで設定されているパスワードを入力します。
受信パスワード（確認）	○	同上
POP/IMAP before SMTP		指定されていなければ初期値のままにしておきます。
SMTP 認証		
SMTP 認証方式		
SMTP ログインID		
SMTP パスワード		
OAuth2.0 認証		OAuth2.0 認証を利用する場合のみ表示されます。 OAuth2.0 認証の認証情報取得ボタンを押下し、認証を進めて、取得した認証コードをテキストボックスに転記してください。 ※ログインIDは、メールアドレスとログインIDが異なる場合のみ入力が必要です。
使用制限		（このアカウントで送受信できる社員を指定します。メール配信では特に使用しません）

3-2.外部送信メール設定

メール配信時、Approach DAM からメール DM サーバーへ配信依頼を行うコマンドメールを送信するためのメールアカウントの設定を行います。本項で設定するメールアカウントは、本マニュアル「1-2：メールアカウントについて」で記載されている「D.外部送信メールアカウント」を設定します。

1. システム設定の「基本設定」の「メール」の「メールサーバー」を選択します。

⇒「メール/メールサーバー」画面が表示されます。

2. **新規登録** ボタンをクリックします。

⇒新規登録画面が表示されます。

3. 必要事項を設定し、最後に **保存** ボタンをクリックします。

※入力内容については「システム設定マニュアル [基本設定・セキュリティ・運用管理]」をご参照ください。

※本マニュアル「1-2：メールアカウントについて」の「D.外部送信メールアカウント」として用意したアカウント情報を入力します。

4. システム設定の「基本設定」の「メール」の「外部送信メール」を選択します。

⇒「メール/外部送信メール」画面が表示されます。

5. 登録画面が開きましたら、メールサーバー名や送信メールサーバー、受信メールサーバーなど必要事項を入力し、

保存 ボタンをクリックします。

※入力内容については「システム設定マニュアル [基本設定・セキュリティ・運用管理]」をご参照ください。

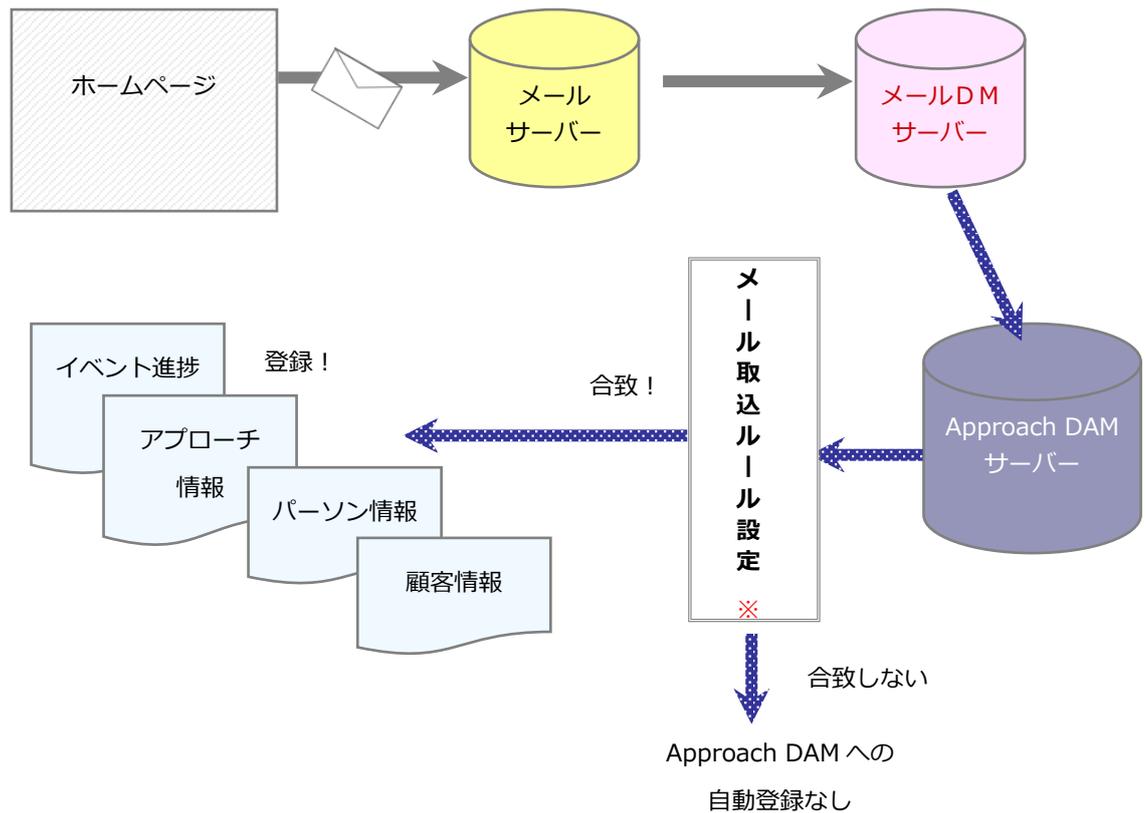
4.メール取込ルール

メール取込機能を利用すると、自動的にアプローチ情報（履歴）および関連するパーソン情報、イベント進捗を自動登録することができます。

この自動取込みを実行するためには、システム設定画面にて取込ルールを設定しなければなりません。

※メール取込機能の概要は、本マニュアル「1-1：構成図」をご参照ください。

ここでは、取込ルール設定とその制約についてご説明いたします。



※「メール取込ルール」・・・「件名に XX を含む」メールなど製品に取込みたいメールの条件のこと。

4-1.メール取込ルールを登録する

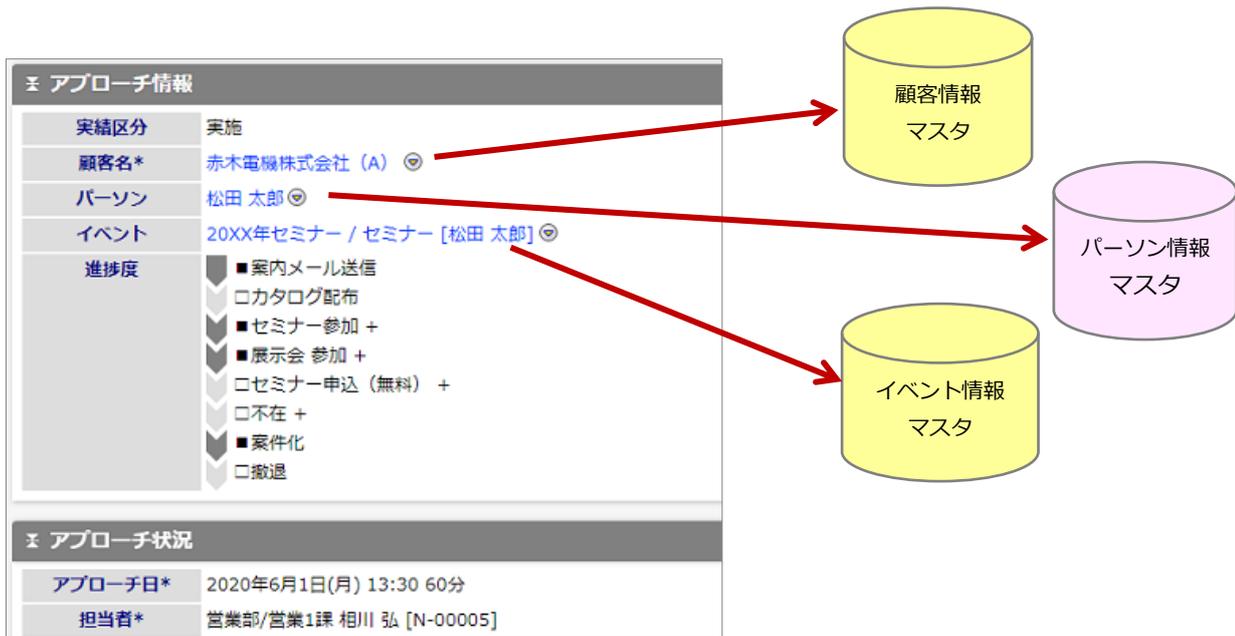
 注意	メール取込みルール設定は、Approach DAM システム設定マニュアルにも記載しています。
---------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------

- システム設定の「製品名タブ (Approach DAM)」の「メール取込」の「メール取込ルール」を選択します。
⇒「メール取込/メール取込ルール」画面が表示されます。
- 新規登録** ボタンをクリックします。
⇒新規登録画面が表示されます。
- 必要事項を入力し、最後に **保存** ボタンをクリックします。

項目名称	説明	
名称	メール取込ルール名を任意に入力します。	
有効	このメール取込ルールを即時有効にする場合は、「有効」を選択します。	
取込フォーマット	取込フォーマットを新規に作成する場合は、「新規登録」ボタンをクリックします。 ※取込フォーマットの詳細は、「 15-1-4.メール取込フォーマットを登録する 」参照してください。	
以下の条件に当てはまるとき	条件一致	設定した対象について「すべての条件に一致する」あるいは「いずれかの条件に一致する」を選択します。
	対象	対象のメール種類を選択します。
	値	「対象」にて選択した種類に対する内容（値）を入力します。 ※「メール本文が全て英文字」の場合は、「真」か「偽」を選択します。 ※値が複数ある場合は、改行して入力してください。
	条件	「値」にて入力された内容の条件を選択します。
	追加	新たに条件を追加する場合は、「追加」ボタンをクリックします。 ⇒新しい項目が追加されます。

対象	説明		
アクション	対象	条件に合致した場合、「何もしない」「登録：アプローチ情報」のいずれかを選択します。	
		何もしない	動作は行われません。
		登録：アプローチ情報	メール情報から推定されたアプローチ情報を自動作成します。 顧客情報やパーソン情報も作成されます。 この時、担当者にセットされる条件として以下の順番にセットされます。 ① メール本文内で指定された担当者 ② メール本文内で指定された顧客情報の担当者 ③ メールの宛先のアドレスを持つ社員 ④ デフォルトで設定された社員
値	-		

4-2.自動作成される各情報の構成と制約



項目名	説明
アプローチ情報	<ul style="list-style-type: none"> ・アプローチ内容に配信タイトルおよびメール件名が登録されます。 ・添付ファイルはアプローチ情報の添付ファイルとして保存されます。 ・「顧客情報」が入力されている場合、該当の顧客情報と紐づきます。
顧客情報	<ul style="list-style-type: none"> ・類似検索結果・登録などの情報はジャーナルに記録されますのでご確認ください。 ・「パーソン情報」が入力されている場合は、パーソン情報と紐づきます。 ・顧客情報未入力時は、顧客名が「未登録顧客」の情報を作成し紐づきます。
パーソン情報	<ul style="list-style-type: none"> ・類似検索結果・登録などの情報はジャーナルに記録されますので確認してください。 ・「顧客情報」に類似・登録済み・入力がある場合は、その顧客情報と紐づきます。
イベント進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・登録済みのイベント名が入力されている場合のみ、イベント情報とアプローチ情報が紐づけられます。

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了解ください。

○ 発行

2021年3月29日

第7版

株式会社 NIコンサルティング

テクニカルサポート

E-mail : tech@ni-consul.co.jp Tel : 050-5578-5014

営業時間 : 9 : 00-12 : 00 13 : 00-17 : 00 (土日祝および弊社休業日を除く)

製品保守契約をご契約のお客様のみご利用が可能です。

メールは休業中も受け付けております。お休み中にいただきましたお問い合わせにつきましては、

メール・お電話共に翌営業日以降順次ご対応させていただきます。予めご了承下さい。